

カタツムリの不思議Q&A

A1. カタツムリは雌雄同体ですが、他の個体と交尾をして、卵を産みます。地面の浅いところや、木の根元などに産み落とされた卵は、約2週間から1か月で孵化します。孵化した子どもは、小さいながらも巻貝を背負っていて、大人と同じ形をしています。

A2. 日本のカタツムリは種類によって貝の巻く方向が決まっています。大部分のものが右巻きです。この巻きの方向は遺伝子によって決められるとされています。

カタツムリを見つけたら、チェックしてみましょう！！

A3. カタツムリは、貝殻の材料となるカルシウムの補給が必要です。そのため、コンクリートに含まれるカルシウムを得るために集まっていると考えられます。

最後に……

海外では、食材にもなるカタツムリですが、野生のカタツムリには寄生虫がいることがあります。そのため、カタツムリを触ったあとは手を洗い、しっかりと乾燥させるようにしましょう！！